

第 14 期決算公告

三重県桑名市多度町下野代 900 番地
株式会社 やまぜんホームズ
代表取締役 前野 一馬

貸借対照表

(平成 28 年 7 月 31 日現在)

(単位:千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|--------------------|------------------|-----------------|------------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流 動 資 産 | 2,860,780 | 流 動 負 債 | 2,585,463 |
| 現金及び預金 | 707,608 | 買掛金 | 14,037 |
| 売掛金 | 35,572 | 工事未払金 | 368,300 |
| 販売用不動産 | 1,165,632 | 短期借入金 | 679,860 |
| 未成工事支出金 | 780,850 | 1年以内償還予定の社債 | 39,000 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,748 | 1年以内返済予定長期借入金 | 530,835 |
| 前渡金 | 17,639 | リース債務 | 34,329 |
| 前払費用 | 17,976 | 未払金 | 54,828 |
| 未収入金 | 20,509 | 未払費用 | 69,794 |
| 短期貸付金 | 9,652 | 未払法人税等 | 953 |
| 繰延税金資産 | 63,887 | 預り金 | 36,549 |
| その他の | 35,465 | 未成工事受入金 | 748,587 |
| 貸倒引当金 | △763 | 賞与引当金 | 8,386 |
| 固 定 資 産 | 984,096 | 固 定 負 債 | 651,290 |
| 有 形 固 定 資 産 | 859,848 | 社債 | 120,000 |
| 建物 | 568,283 | 長期借入金 | 441,919 |
| 構築物 | 54,294 | リース債務 | 83,378 |
| 機械及び装置 | 18,716 | 預り保証金 | 1,233 |
| 車両運搬具 | 1,947 | 資産除去債務 | 4,759 |
| 工具、器具及び備品 | 22,675 | 負 債 合 計 | 3,236,753 |
| 土地 | 86,770 | (純資産の部) | |
| リース資産 | 107,160 | 株 主 資 本 | 608,122 |
| 無 形 固 定 資 産 | 10,593 | 資本金 | 30,000 |
| ソフトウェア | 4,200 | 資本剰余金 | 480,000 |
| その他 | 6,393 | 資本準備金 | 480,000 |
| 投資その他の資産 | 113,654 | 利益剰余金 | 98,122 |
| 関係会社株式 | 1,763 | 別途積立金 | 70,000 |
| 関係会社出資金 | 10,000 | 繰越利益剰余金 | 28,122 |
| 差入保証金 | 37,607 | 純資産合計 | 608,122 |
| 繰延税金資産 | 1,738 | 負債・純資産合計 | 3,844,876 |
| その他 | 62,546 | | |
| 資 産 合 計 | 3,844,876 | | |

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

〔自 平成27年8月 1日〕
〔至 平成28年7月31日〕

(単位:千円)

| 科目 | 金額 |
|-------------------|-----------|
| 売上高 | |
| 完成工事高 | 4,429,256 |
| 兼業事業売上高 | 126,046 |
| 売上高合計 | 4,555,303 |
| 売上原価 | |
| 完成工事原価 | 3,327,655 |
| 兼業事業売上原価 | 25,197 |
| 売上原価合計 | 3,352,853 |
| 売上総利益 | 1,202,449 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,103,689 |
| 営業利益 | 98,759 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 545 |
| 受取配当金 | 3 |
| 受取保険金 | 24,321 |
| 受取手数料 | 3,236 |
| 貸倒引当金戻入額 | 500 |
| その他 | 1,628 |
| 営業外収益合計 | 30,235 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 43,452 |
| 社債利息 | 319 |
| 貸倒引当金繰入額 | 610 |
| 減価償却費 | 5,272 |
| その他 | 3,935 |
| 営業外費用合計 | 53,589 |
| 経常利益 | 75,405 |
| 特別損失 | |
| 固定資産売却損 | 5,480 |
| 固定資産除却損 | 924 |
| 抱合株式消滅差損 | 60,956 |
| 特別損失合計 | 67,362 |
| 税引前当期純利益 | 8,042 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,841 |
| 法人税等調整額 | △28,668 |
| 法人税等合計 | △26,827 |
| 当期純利益 | 34,870 |

株主資本等変動計算書

〔 自 平成27年8月 1日
至 平成28年7月31日 〕

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | 株主資本 合計 | 純資産 合計 |
|------------------|--------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 利益剰 余金 合計 | | |
| | | 資本 準備金 | 資本剰余 金合計 | その他利益剰余金 | 繰越利益 剰余金 | | | |
| | | | | 別途 積立金 | | | | |
| 平成27年8月1日 残高 | 30,000 | 480,000 | 480,000 | 70,000 | △6,747 | 63,252 | 573,252 | 573,252 |
| 当事業年度中の 変動額 | | | | | | | | |
| 当期純利益 | | | | | 34,870 | 34,870 | 34,870 | 34,870 |
| 当事業年度中の 変動額合計 | — | — | — | — | 34,870 | 34,870 | 34,870 | 34,870 |
| 平成28年7月31 日残高 | 30,000 | 480,000 | 480,000 | 70,000 | 28,122 | 98,122 | 608,122 | 608,122 |

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式及び関係会社出資金
移動平均法による原価法を採用しております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

① 販売用不動産

個別法による原価法(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)を採用しております。

② 未成工事支出金

個別法による原価法(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)を採用しております。

③ 原材料及び貯蔵品

最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)を採用しております。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(付属設備を除く)については定額法)を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

| | |
|-----------|--------|
| 建物 | 15～31年 |
| 構築物 | 15～20年 |
| 機械及び装置 | 6～15年 |
| 車両運搬具 | 2～4年 |
| 工具、器具及び備品 | 4～6年 |

② 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

④ 長期前払費用

均等償却を採用しております。

(4) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、当事業年度内の算定期間に基づき計上しております。

(5) 収益及び費用の計上基準

完成工事高の計上基準

当期末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事契約については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を適用し、その他の工事契約については、工事完成基準を適用しております。

(6) 重要なヘッジ会計の方法

① ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の要件を満たす金利スワップ取引について、特例処理を採用しております。

② ヘッジ手段とヘッジ対象

- ・ヘッジ手段……金利スワップ取引
- ・ヘッジ対象……借入金利

③ ヘッジ方針

当社の金利スワップ取引は、借入金利の変動によるリスク回避を目的としており、投機的な取引は行わない方針であります。

④ ヘッジ有効性評価の方法

金利スワップの特例処理の要件に該当するため、その判定をもって有効性の判定に代えております。

(7) その他財務諸表作成のための基本となる事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

(会計方針の変更)

従来、有形固定資産の減価償却方法は主として定率法(ただし、建物(建物附属設備は除く)は定額法)によっておりましたが、法人税法の改正(「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年3月31日法律第15号)及び「法人税法施行令等の一部を改正する政令」(平成28年3月31日政令第146号))に伴い、実務対応報告第32号「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(平成28年6月17日企業会計基準委員会)を適用し、平成28年4月1日以降に取得する建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

当該会計方針の変更による当事業年度の財務諸表への影響は軽微であります。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

547,847 千円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度期首 (株) | 増加(株) | 減少(株) | 当事業年度末 (株) |
|-------|----------------|-------|-------|---------------|
| 普通株式 | 15,000 | — | — | 15,000 |

4. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

| | |
|-----------|----------|
| 繰延税金資産 | |
| 貸倒引当金 | 121千円 |
| 賞与引当金 | 2,834 |
| 販売用不動産評価損 | 79,722 |
| 買掛金 | 12,279 |
| 未払金 | 31,659 |
| 関係会社株式評価損 | 2,766 |
| 減価償却超過額 | 10,225 |
| 資産除去債務 | 1,598 |
| 繰越欠損金 | 90,469 |
| その他 | 4,057 |
| 繰延税金資産小計 | 235,736 |
| 評価性引当額 | △168,841 |
| 繰延税金資産合計 | 66,895 |
| 繰延税金負債 | — |
| 資産除去費用 | △1,269 |
| 繰延税金負債合計 | △1,269 |
| 繰延税金資産純額 | 65,625 |

(2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

| | |
|--------------------|----------|
| 法定実効税率 | 34.33% |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目 | 6.70% |
| 住民税均等割 | 22.89% |
| 評価性引当額の増減 | △220.04% |
| 繰越欠損金 | △313.79% |
| 合併による影響 | △196.13% |
| 抱合せ株式消滅差損 | 318.89% |
| 過年度調整による影響 | 25.39% |
| 実効税率差異 | △9.90% |
| その他 | △1.90% |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | △333.56% |

(3) 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月29日に国会で成立し、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の34.3%から、平成28年8月1日に開始する事業年度及び平成29年8月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については33.8%に、また、平成30年8月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については、33.6%となります。この税率の変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は1,024千円減少し、法人税等調整額は1,024千円増加しております。

5. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については銀行等の金融機関からの借入及び新株発行による方針であります。また、デリバティブ取引については、リスクを回避するために利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成 28 年 7 月 31 日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

| | 貸借対照表計上額 | 時価 | 差額 |
|----------------------|-----------|-----------|--------|
| (1)現金及び預金 | 707,608 | 707,608 | — |
| (2)売掛金 | 35,572 | 35,572 | — |
| (3)未収入金 | 20,509 | 20,509 | — |
| 資産計 | 763,690 | 763,690 | — |
| (1)工事未払金 | 368,300 | 368,300 | — |
| (2)短期借入金 | 679,860 | 679,860 | — |
| (3)長期借入金(1年内返済予定を含む) | 972,755 | 997,424 | 24,668 |
| (4)社債(1年内償還予定を含む) | 159,000 | 159,901 | 901 |
| (5)リース債務(1年内返済予定を含む) | 117,708 | 117,708 | — |
| 負債計 | 2,297,623 | 2,323,194 | 25,570 |

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法

資産

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金

短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 未収入金

貸借対照表計上額は、帳簿価額から、これに対応する貸倒引当金を控除した後の金額を記載しております。また、貸倒引当金は担保及び保証による回収見込額等に基づき計上しており、貸倒引当金控除後の帳簿価額と近似していることから、当該価額によっております。

負債

(1) 工事未払金、(2) 短期借入金

短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 長期借入金(1年内返済予定を含む)、(4) 社債(1年内償還予定を含む)

これらの時価は、元利金の合計額を、一定の期間ごとに分類し、その将来キャッシュ・フローを適切な指標に信用スプレッドを上乗せした利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(5) リース債務(1年内返済予定を含む)

元利金の合計額を、新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(注) 2. 金銭債権の決算日後の償還予定額

(単位:千円)

| | 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 10年以内 | 10年超 |
|--------|---------|-------------|--------------|------|
| 現金及び預金 | 707,608 | — | — | — |
| 売掛金 | 35,572 | — | — | — |
| 未収入金 | 20,509 | — | — | — |
| 合計 | 763,690 | — | — | — |

(注) 4. 社債、長期借入金及びその他の有利子負債の決算日後の返済予定額

(単位:千円)

| | 1年以内 | 1年超5年以内 | 5年超10年以内 | 10年超 |
|-----------------------|-----------|---------|----------|------|
| 短期借入金 | 679,860 | — | — | — |
| 長期借入金(1年内 返済予定を含む) | 530,835 | 377,756 | 64,162 | — |
| 社債(1年内償還予 定を含む) | 39,000 | 120,000 | — | — |
| リース債務(1年内 返済予定を含む) | 34,329 | 71,289 | 12,089 | — |
| 合計 | 1,284,025 | 569,045 | 76,251 | — |

6. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 役員及び個人主要株主等

| 種類 | 会社等の名称又は氏名 | 所在地 | 資本金又は出資金 (千円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権等の所有 (被所有) 割合 (%) | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|----|------------|-----|------------------|---------------|-------------------------------|---------------|----------------------------------|-------------------|-------------------------|--------------|
| 役員 | 前野一馬 | — | — | 当社 代表取締役 | (所有) 直接20.7 | 債務保証 資金の貸付 | 金融機関借入金 に対する被 債務保証 (注1) | 1,379,634 (注3) | — | — |
| | | | | | | | リース契約に 伴う被債務保 証(注1) | 103,218 | — | — |
| | | | | | | | 社債に対する 担保提供 | 159,000 | | |
| | | | | | | | 役員からの借 入れ | 50,637 | 長期 借入金 (注3) | 62,117 |
| | | | | | | | 役員からの預 り金 | — | 預り金 (注3) | 13,040 |
| | | | | | | | 工事の受注 (注2) | — | 未成 工事支 出金 (注3) | 32,658 |
| | 前野泰広 | — | — | 当社取締役 | (所有) 直接20.6 | 住宅販売 | 工事代金の回 収 (注2) | 754 | 売掛金 (注3) | 13,355 |
| | 前野圭亮 | — | — | 当社取締役 | (所有) 直接20.0 | 債務保証 | 金融機関借入金 に対する被 債務保証 (注1) | 211,910 | — | — |

上記の金額のうち、取引金額及び期末残高には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 代表取締役前野一馬及び前野圭亮の債務保証に対する保証料の支払いはありません。
 2. 取引内容は、個人宅の新築工事請負契約であります。取引条件については、当社と関連しない他の当事者と同様の条件であります。
 3. 上記の取引は上場日予定日(平成 29 年 3 月 3 日)までに解消を予定しております。

(2)子会社等

| 種類 | 会社等の名称又は氏名 | 所在地 | 資本金又は出資金(千円) | 事業の内容又は職業 | 議決権等の所有(被所有)割合(%) | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額(千円) | 科目 | 期末残高(千円) |
|-----|----------------|--------|--------------|-----------|-------------------|-----------|------------|----------|-----------|----------|
| 子会社 | ㈱Inspire Japan | 三重県桑名市 | 5,000 | 飲食店の経営 | (所有)直接40.0 | 資金の援助 | 家賃等の回収(注1) | 11,591 | 未収入金(注2) | — |
| | | | | | | | 資金の貸付 | 46,800 | 短期貸付金(注2) | — |
| | | | | | | | 経費等の立替 | 39,877 | 立替金(注2) | — |

上記の金額のうち、取引金額及び期末残高には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 建物賃貸について近隣の取引実勢に基づいて、賃貸料金額を設定しております。
 2. ㈱Inspire Japan は平成 28 年 5 月 21 日付けで合併しているため、上記につきましては、合併前の取引内容を記載しております。

7. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 405円42銭
 (2) 1株当たり当期純利益 23円25銭